

農業協同組合

経営実務第十三卷 総目次

〔農協時評〕

今迄の十年・今後の十年……………	一
もつとさかんな討論を（農協大会）……………	一
「農協運動者」と「職員」……………	一
流通改善をめぐる問題……………	二
合併問題の二つの視点……………	二
待遇の向上に目標を……………	二
人工衛星時代と農協……………	二
肥料の歩戻しと農協……………	三
年金制と自主の問題……………	三
農協法改正に要望する（全中）……………	三
貯蓄情報員の活用……………	三
不振組合の再建指導……………	三
総選挙と農協……………	四
「農協理念」という言葉……………	四
営農指導補助員の活用……………	四
共計はなぜ徹底しないか……………	五
「共済と資金還流」……………	五
量産されない婦人作業衣……………	五

農協から火災をなくそう……………	五
再建整備組合の配当制限……………	六
営農指導員と技術指導……………	六
漁村農協の改善を考えよう……………	六
33年度米価等に関する要請（全中）……………	六
農林行政の方向……………	七
農協の政治団体……………	七
農協整備の新しい課題……………	八
農協合併促進法を制定せよ……………	八
農協資本の新しい胎動……………	九
「十円牛乳」と農協……………	九
かわりつつある農協婦人部……………	九
合併促進は是か非か……………	十
整促完了連大いに語る……………	十
農協の政治期節……………	十一
高校に農協教育をとりいれよ……………	十一
農協をめぐる網の目……………	十二

〔法律〕

農協役職員の年金制度とはどんなものか……………	促進委員会……………	一
農協法人門講座（五）十六……………	高畑 三夫……………	一〇七
再建整備奨励金の償還について……………	月本 道彦……………	三
役員選挙をめぐる法律知識……………	月本 道彦……………	四
波乱をよんだ農協法の改正……………	月本 道彦……………	五〇六

確立された農協の年金制度……………月本 道彦……………六  
 共済責任準備金とその積立……………月本 道彦……………八  
 農協年金の掛金率・審査等のあらまし……………月本 道彦……………九  
 「善管注意義務」違反にとわれた組合長……………上田 伝竹……………十二  
 農林漁業団体職員共済組合の会計と財務……………月本 道彦……………十二

〔組合論・経営論〕

生産的農協はどうあるべきか……………三浦 虎六……………一  
 農協と実践理念……………高橋 豊八……………一  
 合併農協の系統関係……………辻 誠……………一  
 農業協同組合の動向（農協大会情勢報告）……………米坂 竜男……………一  
 農協一〇年の歩み……………米坂 竜男……………一  
 新市町村内の農協はどう協力したらよいか……………二  
 △大阪府泉南町六農協△……………二  
 刷新拡充三カ年計画第二年度の重点をどこに……………二  
 おくか……………国友 則房……………四  
 全利用の理論はこれでよいのか……………辻 誠……………五  
 「農業法人」問題の意味するもの……………三浦 虎六……………七  
 単協駐在指導員の語る農協経営△座談会△……………七  
 農協青年部はどうあるべきか……………秋田 義信……………九  
 部落と総合農協……………守田 志郎……………十二  
 複合地帯農協の経営問題をさぐる（上・中）……………辻 誠……………十二  
 これからの農業の方向と農協の役割……………本岡 武……………十三  
 農協合併をどう考えたらよいか……………菅沼 正久……………十三

〔経営管理〕

月例経営検討会の考え方とすすめ方……………西岡 毅……………一  
 農協運営になくなくてはならない内部資料はなに……………竹下 栄昌……………一  
 組合員は農協をこう考える△集団調査△……………奈倉 博充……………一  
 水田単作地帯の農業経営を克服する農協……………大村 正一……………二  
 移動農協の実際……………丸山 兵雄……………二  
 農協青年部を部員はこう考える△集団調査△……………村山 晴美……………二  
 利用高配当の実際……………高野 光……………三  
 企画会議をこう行っている……………加藤 重巳……………三  
 単協における経営計画のたて方……………西岡 毅……………四  
 農協の人事管理……………米坂 竜男……………五  
 職員会議で経営を明るく推進……………桜井 昶……………五  
 活動を決定づける職員の資質の向上……………八木 繁樹……………五  
 組合員は農協をこうみている△集団調査△……………村山 晴美……………六  
 事務能率をどうして高めるか……………成田 健次……………七  
 内部牽制組織の基準と運用……………甲斐 武至……………七  
 部落座談会のあり方と開き方……………米坂 竜男……………八  
 座談会の上手な進め方……………堀川 直義……………八  
 部落座談会をこう運営している……………若松 茂平……………八  
 「経営管理グラフ」の作り方と見方……………坂井 義一……………八  
 事業の推進を分担して経営をすすめる△鳥取 県岩美町七農協の場合△……………八

明るい職場の育て方……………成田 健次……………九  
 理事会のあり方とすすめ方……………米坂 竜男……………十  
 役員会の運営はどうあるべきか△単協の意見△……………十  
 男子職員にも申し……………十一

〔経 理〕

部門計算の意義と方法……………国友 則房……………二  
 決算評価と引当金……………成田 健次……………三  
 信用事業の決算をめぐる二つの問題……………市塚宰一郎……………三  
 再評価と出資組入れの留意点……………星 三男……………三  
 決算と税務……………大沢 義一……………三  
 決算手続経理要領……………三  
 部門計算の勘どころ……………市塚宰一郎……………四  
 企業会計原則の基本的性格……………諸井勝之助……………六  
 財務諸表の体系……………諸井勝之助……………七  
 営農指導と農家簿記……………奥谷 松治……………七  
 現地で工夫された農家簿記の実際……………八木 繁樹……………七  
 有線放送電話事業の経理……………星 三男……………九  
 実地棚卸のすすめ方……………佐田 芳国……………九  
 単協のみで行う共同計算販売の経理……………近藤 整……………九  
 仮決算のすすめ方……………成田 健次……………十  
 損益計算書について……………諸井勝之助……………十  
 「混合伝票」とその使い方……………小田原 勝……………十  
 売価還元法による棚卸……………小林 健吾……………十一

〔監 査〕

例解農協仕訳便覧……………白川 実……………十二  
 貸借対照表について（上）……………諸井勝之助……………十二  
 伝票会計のしくみと特長……………大沢 義一……………十二  
 農協監査講話……………本山 悦吉……………十三  
 決算監査のすすめ方……………成田 健次……………十四

〔税 務〕

農協法人税申告書の書き方……………藤掛 一雄……………十四

〔信用事業〕

農協信用業務用語事典……………八幡一郎編……………十五  
 認められた銀行等の移動店舗……………大森 右一……………三  
 農協婦人と貯蓄△集団調査△……………三  
 都市農協の貯金吸収策△兵庫県三木農協△……………三  
 定期積金の実務……………溝口 勝英……………五  
 貯金利息計算を能率化する基数表の使い方……………市塚宰一郎……………七  
 減税貯金の農協における取扱……………本山 啓輔……………八  
 貯金・貸付金を組合員はこう考える△集団 調査△……………星野 進一……………十  
 無尽式貯蓄による信用事業の推進……………黒岩 正衛……………十三

〔購買事業〕

無尽式貯蓄による信用事業の推進……………黒岩 正衛……………十三

農協移動店舗の実際	滝沢 宏祐	二
購買現金制への切換え	富士 元見	二
郡単位による購買活動の実際	下村 理平	三
生活物資配置購買の実際	朝倉 源美	三
家庭薬配置売却の事務処理と経理	近藤 整	五
農協購買店舗運営の実際	小島 吉一	六
売掛金の回収対策	新井 義雄	八
購買未収金利息の計算実務	松本 久雄	九
養鶏飼料の共同購入から鶏卵の共同出荷まで	北川 博義	十
博義	十一	十一
〔販売事業〕		
歴史的にみた米価の足どりへ農産物の価格	新井 義雄	一
農産物流通改善施策のねらいとあらまし	兒玉 好古	二
米の流通費と生産費へ農産物の価格	新井 義雄	二
青果代金の系統経由手続	海野 友文	三
農協隊セリ市運営の実際	鈴木 光治	六
甘藷共販の現状と共同計算	鈴木 光治	十一
〔共済事業〕		
掛金貸付制による生命共済の推進	桑原 貞治	二
受払帳による共済事務のすすめ方	近藤 整	五
共済月掛契約制度の実際	若林十四三	十
〔運輸事業〕		
運輸事業の共同経営	若槻 耕三	十一
〔指導事業〕		
更生年金制度による負債農家の救済	武内統一郎	一
スライド製作の始めから終りまで	清山 健一	二
営農指導の現状と問題点	三浦 虎六	四
営農相談所の運営と農協経営	三浦 虎六	四
畜産振興と農協経営	三浦 虎六	四
有畜営農設計の考え方	平井 次郎	六
営農診断から始めた農家経営の指導	鈴木 照治	六
共同施設による養鶏の振興	鈴木 照治	六
農林会議所をつくつて農業の向上をめざす	三浦 虎六	八
営農集団指導と農協	三浦 虎六	十
無理なく受け入れられる営農指導	勝野 元樹	十一
〔資格試験〕		
第三回農協監査士資格試験問題入口述の部	安藤 功	一
第三回農協監査士資格試験問題解説入口述の部	安藤 功	一
三三年度農協監査士資格試験筆記問題	安藤 功	二
三三年度農協監査士資格試験筆記問題解説	安藤 功	三
〔誌 物〕		
損害賠償に問われた役員達	安藤 功	一

組合員教育と演劇	金子 隼太	一
勤めよい農協にするために	渡辺 毅	一
向上いちじるしい珠算・簿記の技能	成田 健次	一
農協映画「秋晴れ」	篠塚 ひさ	三
農協に働く日々	篠塚 ひさ	十一
不振組合再建に励む婦人組合長	篠塚 ひさ	十一
青い地平を のぞみつつ	篠塚 ひさ	三
「ロクでもない農協」を「な くてはならぬ農協」にした専 務	篠塚 ひさ	三
〔セラビア〕		
盛大に開かれた農協大会	金子 隼太	一
村に行く「農協店舗」	金子 隼太	二
営農指導員の或る日	金子 隼太	三
営農指導体験発表会	金子 隼太	四
農協の経営する「八百屋」さん	金子 隼太	五
農協における豚のセリ市	金子 隼太	六
明日の農協を担う人達	金子 隼太	七
完備した農協購買店舗	金子 隼太	八
農協の農機具修理場	金子 隼太	九
協同乳業東京工場を訪ねて	金子 隼太	十
農協の誇る全購連明石ゴム工場	金子 隼太	十一
羊毛から毛織物をつくる農民の北紡旭川工場	金子 隼太	十二
〔法令通達解説〕		
天災による被害農林漁業者等に対する資金の融通に関する暫定措置法に基く経営資金の融通にかかる利子補給及び損失補償契約の締結について	安藤 功	一
昭和三十二年二月から九月までの天災についての天災による被害農林漁業者等に対する資金の融通に関する暫定措置法の適用に関する政令の一部を改正する政令	安藤 功	二
農林漁業組合再建整備法施行令及び農林漁業組合再建整備法施行規則の一部改正について	安藤 功	三
農協整備特別措置法の一部改正について	安藤 功	四
農林漁業団体職員共済組合法の公布について	安藤 功	五
農協同組合法の一部を改正する法律及びこれに伴う農林省令の施行について	安藤 功	六
財務処理基準令に基く告示の改正について	安藤 功	七
昭和三三年以降の農業倉庫の整備方針について	安藤 功	八
農業協同組合法第九十八条の主務大臣を定める政令の一部改正	安藤 功	九
共済事業を行う農業協同組合連合会が行う損害保険代理店業務について	安藤 功	十
〔実務相談〕		
役員報酬について	安藤 功	一
延滞利息または賠償額の徴収について	安藤 功	二

整備促進組合の会員である組合の課税対象について	一
購買貯金の貸越について	二
購買売掛金を貸付金に振替えられるか	二
身元保証人への通知義務について	二
農業改良資金の債務保証条件	二
単協の信連業務代理について	二
出資金増額に応じぬ組合員について	三
理事からの借入について	三
当座貸越の超過額について	三
購買品年賦売上の経理について	三
購買掛金の貸付金振替えについて	四
貯金債権の消滅時効処分について	四
定款第三十七条第二項の解釈について	四
就業規則について	四
信連の信連理事出身組合に対する貸付	四
金額の記載について	五
金員借用証書の宛名(宛先)について	五
死亡した組合員の持分について	五
定期積金と定額貯金について	六
未収金等に対する利息の徴収について	六
借用証書について	六
役員選挙について	六
債務の確認について	七
貯金の休眠口座と時効について	七

開拓者の取扱について	七
印鑑証明書の有効期間について	七
理事の自己契約等の禁止について	七
役員退任慰労金規程について	七
農業改良資金の貸出条件について	九
競業者の役員等への就職禁止について	九
定款例第四十一条について	九
債権効力の有無について	十
自己資金による農業手形貸付の貸付限度について	十
臨時金利調整法に基く信連の金利の最高限度について	十
農協が外部出資を譲渡するばあいの課税について	十
貯金担保手形貸付の書替えについて	十
員外貸付について	十
仮理事について	十
〔揭示板〕	
百姓は馬鹿か・他	一
農村の二つの柱・他	二
「名譽組合員」誕生・他	八
食肉デーを設けた農協・他	十
秋の白書・他	十一
伊豆災害に救援の手を・他	十二
〔組合の窓〕	
タクアン漬とコンロで現金収入の増加・他	二〇五